

【専門教育科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護支援論 I	NSP33_012	選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
須田 由紀 他	305	yuki.suda	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	公衆衛生看護の対象・目的・特徴と公衆衛生看護活動の諸理論と看護の方法である家庭訪問援助や相談的対応技術及び教育的対応技術について学ぶ。また、行政サービスとして機能する保健師の具体的な活動を理解する。社会のしくみや公的サービスの枠組みの中で展開される地域生活集団を対象とした母子、成人、高齢者など発達段階別の公衆衛生看護活動とその展開方法について学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	人間の心身の発達段階、看護活動に関連する既習の関係法規等についてよく復習しておくこと。また、既習の人体構造機能学や疾病治療論の知識を整理しつつ授業に臨んでほしい。				
教科書	・公衆衛生看護学第4版 / 編：和泉京子・上野昌江 / 中央法規 /2025				
参考書	特に指定はありませんが、必要時は講義中に紹介します。				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ライフステージに応じた公衆衛生看護活動の特徴について理解し、実践できる。	HSU(1)~(3)、NS(1)~(5)			
②	健康状態に焦点を当てた公衆衛生看護活動の特徴について理解し、実践できる。	HSU(1)~(3)、NS(1)~(5)			
③	多職種との協働の在り方について説明できる。	HSU(4)、NS(1)~(5)			
④	公衆衛生看護活動を法令や制度、社会資源、各理論と関連させて説明できる。	HSU(5)(6)、NS(1)~(5)			
⑤	保健師活動に必要な対人援助の姿勢を学ぶ	HSU(6)、NS(2)~(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	公衆衛生看護の概念・歴史	講義・演習	公衆衛生看護活動の歴史について予習・復習をする。	4	
2	公衆衛生看護の基盤と対象・展開方法	講義・演習	公衆衛生看護活動の特徴や展開方法について予習・復習をする。	4	
3	ライフステージに焦点を当てた活動：母子保健①	講義・演習	母子保健活動の理念や実際について予習・復習をする。	4	
4	ライフステージに焦点を当てた活動：母子保健②	講義・演習	母子保健活動の理念や実際について予習・復習をする。	4	
5	ライフステージに焦点を当てた活動：成人保健①	講義・演習	成人保健活動の理念や実際について予習・復習をする。	4	
6	ライフステージに焦点を当てた活動：成人保健②	講義・演習	成人保健活動の理念や実際について予習・復習をする。	4	
7	ライフステージに焦点を当てた活動：高齢者保健①	講義・演習	高齢者保健活動の理念や実際について予習・復習をする。	4	
8	ライフステージに焦点を当てた活動：高齢者保健②	講義・演習	高齢者保健活動の理念や実際について予習・復習をする。	4	
9	療養生活に焦点を当てた活動：多職種との協働	講義・演習	地域における多職種連携の実際と保健師の役割について予習・復習をする。	4	
10	健康相談① 健康相談の定義・目的・対象・展開	講義・演習	地域住民への健康相談の展開方法について予習・復習をする。	4	
11	健康相談② 健康相談の技術	講義・演習	地域住民への健康相談について練習・復習をする。	4	
12	家庭訪問① 家庭訪問の定義・目的・対象・展開	講義・演習	新生児の家庭訪問の展開方法について予習・復習をする。	4	
13	家庭訪問② 家庭訪問の技術	講義・演習	新生児の家庭訪問技術について練習・復習をする。	4	
14	家庭訪問③ 家庭訪問の定義・目的・対象・展開	講義・演習	難病療養者の家庭訪問の展開方法について予習・復習をする。	4	
15	家庭訪問④ 家庭訪問の技術	講義・演習	難病療養者の家庭訪問技術について練習・復習をする。	4	
試	達成度評価・評価ポイントを参照				

【専門教育科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	20	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	40	10	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験：筆記試験とする。また、問題は保健師国家試験出題基準を含む。			試験後に試験問題と解答についてコメントする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
レポート	①	✓	レポート課題に対して適切に論述することが必要である。			フィードバックを行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	出席日数と課題提出等総合的に評価する。出席日数と日々の受講態度、演習等を総合的に評価する。			遅刻、途中退出、欠席が続く場合は個別に指導する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	望月 宗一郎、河西 美生						
教員の実務経験	担当する教員は、行政保健師および病院における看護師の経験を有する。						
実践的授業の内容	教員の経験を活かしながら市町村保健師等の実践内容を踏まえ、公衆衛生看護について理解を深める。						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・補助：石原 杏夏 ・授業中の私語、他学生に迷惑をかける行為は禁止する。教員に質問がある場合は、手を挙げて意思表示し質問すること。 ・本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。 						